

(第11号様式)

事業実施報告書

1 事業の名称

「和紙ちぎり絵・折り鶴を中国へ広めて、平和を祈る」

2 実施時期及び実施期間

平成29年10月9日(月)～10月13日(金) 5日間

3 実施場所

① 山東師範大学美術学院 (山東省省都 済南市)

② 青島濱海学院美術系 (山東省青島市)

4 実施主体

特定非営利活動法人 虹橋の会

5 事業の目的

- (1) 今年は、日中国交正常化45周年になり、日中永久友好についての座談会、学校訪問等の活動で、平和の大切さや相互理解を深める。
- (2) 虹橋の会が設立15周年の際に、昨年度「第19回国際交流奨励賞」受賞したきっかけで、各計画事業の発展を目指す。
- (3) 無形文化遺産に登録された和紙とそれを使って描くちぎり絵を、紙の発祥地の中国各地で指導・宣伝などを通し、互いの伝統文化を尊重し学びあう精神の育成を図り、民間交流活動に努力する。
- (4) 折り鶴を広めることで、「ヒロシマの心」を伝え、「核兵器廃絶」の実現を進める。
- (5) 今後、広島で和紙ちぎり絵と折り鶴展示会を行う際に、日本人、中国人、中国帰国者らが作った作品を展示してもらう。

6 実施内容(箇条書き)

- (1) 挨拶・学校訪問・「ヒロシマを世界に」の図録を見てもらい、「ヒロシマの心」を伝えたことで、友好・平和の大切さを皆で守ろう、「核兵器廃絶」と呼びかけた。
- (2) 持参した各種類和紙のサンプルで、和紙の歴史・種類・特徴・手漉き方法などを説明し、受講者たちに和紙を知ってもらった。
- (3) ちぎり絵の作成に使う和紙のちぎり方、貼り方、糊の作り方、道具の使い方、作画手順などを、スライドで映写し説明した。
- (4) 持参したハガキ教材を使って、受講者から体験、作成してもらった。
- (5) 日本のちぎり絵講師たちから、寄付してもらった大色紙サイズの和紙ちぎり絵教材を、各25部ほど2つの学校へ寄贈し、今後とも交流を続けて行こうと協議した。
- (6) 先に郵送した折り鶴用紙と参考図案を使って、各学校から折ってもらった折り鶴を広島に持って帰った。
- (7) 当会が創作した折紙建築の「折り鶴シリーズ」・「宮島シリーズ」と「折り鶴・広島3部作」を2か所の学校へ寄贈した。

7 (1) 参加人数 (国外事業の場合は現地の参加人数)

100人ほど

(2) 派遣人数 (国外事業のみ記載、うち広島市民の人数も)

6名 (うち広島市民5名)

8 実施効果 (箇条書き)

- (1) 日中邦交正常化 45 周年になる際に「和紙ちぎり絵・折り鶴を中国へ広めて、平和を祈る」の意義深い事業を実施したことを通じて、「両国民の平和・友好の心」を喚起していると確信できる。
- (2) 美術関係者 (教師及び専攻生) に広めることを通じて、伝統文化の伝承できる中国の若い人材を育成し、和紙事業の振興に役立っていると思う。
- (3) 今回の活動で、日中両国、とりわけ広島市民の親睦をより一層深め、両国民間の友好・平和を目指ことができると感じた。
- (4) 今後、広島で和紙ちぎり絵と折り鶴展示会を行う際に、事業実施学校から展示品を出品してもらおう約束し、作品で、国境を超え両国を結びつけることを期待する。
- (5) 和紙ちぎり絵と折り鶴に触れ、作り、鑑賞及び両国人民の対話などを通じて、日中民間交流と国際協力を促進し、互いの理解を深め、友好と平和の絆になり、「ヒロシマの心」を伝えた。

(第13号様式)

事業実施内容及び所感文

事業名：「和紙ちぎり絵・折り鶴を中国へ広めて、平和を祈る」

団体名：特定非営利活動法人 虹橋の会

実施時期及び実施期間：平成29年10月9日(月)～10月13日(金) (5日間)

実施内容：

日程	場所	交流・協力活動名	内容
平成29年 10月9日(月)	広島—大連経由— 济南市到着		
10月10日 (火)	山東師範大学美術学院 (山東省済南市)	・和紙と和紙ちぎり絵を 広める講座 ・折り鶴の展示・交流	・ちぎり絵に使う和紙を紹介、和紙ちぎり絵の作り方を指導、3種類の葉書サイズ教材の体験等を実施した。 ・当会会員と学校、両方が作った多姿の折り鶴を展示・交流・交換した。 ・日中民間交流・友好の大切さについて呼掛けた 添付写真の1参照
10月11日 (水)	同上	・交流推進意見交換	・学校の責任者と今後交流推進のため、意見交換した。
10月12日 (木)	青島濱海学院美術系 (山東省青島市)	・和紙と和紙ちぎり絵を 広める講座 ・折り鶴の展示・交流 ・交流推進意見交換	・ちぎり絵に使う和紙を紹介、和紙ちぎり絵の作り方を指導、3種類の葉書サイズ教材の体験等を実施した。 ・当会会員と学校、両方が作った多姿の折り鶴を展示・交流・交換した。 ・日中民間交流・友好の大切さについて呼掛けた ・学校の責任者と今後交流推進のため、意見交換した。 添付写真の2参照
10月13日(金)	大連経由— 広島に戻る		
所感	<p>① 和紙・ちぎり絵と共に「被爆都市・友好都市」を象徴する「折り鶴」を中国へ広めて、日中の平和・友好関係を促進しようという虹橋の会の目的にそって、今回は新しい交流場所を開き、山東省省都の済南市及び青島に行ってきた。</p> <p>② 当会は、広島市の小さな非営利の民間グループとして、今回派遣講師らの平均年齢は67歳ですが、中国山東省2か所の美術学院より招待を受け、若い大学生との交流とその効果・影響力は、想像以上よかったと思う。</p> <p>③ 「ヒロシマを世界に」の図録を各学校へ宣伝し、折り鶴の展示と交換した等を通じて、日本への関心の高さも伺え、広島を知ってもらい、平和を守ろうとの気持ちを感じた。</p> <p>④ 政治的に冷え込んでいる、今日の日中関係ですが、今回会った中国の人々は、本当に友好的、親日的で、みんな平和を愛し、日中の平和友好を願う人々だった。</p> <p>⑤ 無形文化遺産・我が国の伝統文化である和紙とちぎり絵をもっと中国を含める外国へ広めるために、一つのNPO法人の力は及ばないと思うが、政府からの委託や企業・財団との協働いただくことを切望している。</p>		

(第14号様式)

添付写真

事業名：「和紙ちぎり絵・折り鶴を中国へ広めて、平和を祈る」

団体名： 特定非営利活動法人 虹橋の会

1



説明：山東師範大学美術学院での交流風景（山東省省都 済南市）

2017年10月10日（火）

2



説明：青島濱海大学美術系での交流・プレゼント交換風景（山東省青島市）

2017年10月12日（木）

添付写真の1



「和紙ちぎり絵・折り鶴を中国へ広めて、平和を祈る」

山東師範大学美术学院での交流風景（山東省省都 済南市）

2017年10月10日（火）



添付写真の2



「和紙ちぎり絵・折り鶴を中国へ広めて、平和を祈る」

青島濱海大学美術系での交流風景 (山東省青島市)
2017年10月12日(木)

